

# 宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 平成25年12月19日(木) 午後5時30分 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

## 会 議 日 程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について  
日程第2 会期について  
日程第3 教育長報告  
日程第4 報告第9号 専決事項の報告について

会議に付した事項 会議日程に同じ

### 出席者

#### (教育委員)

委 員 長	西 野 正 博
委員長職務代理者	金 丸 公 一
委 員	久 富 明 宏
委 員	中 筋 斉 子
委員(教育長)	石 田 肇

#### (出席職員職氏名)

部 長	中 谷 俊 哉	次長(兼教育総務課長)	村 田 匡 子
次長(兼生涯学習課長兼生涯学習センター所長)	藤 原 千 鶴	教育改革推進室長(兼教育指導課長)	山 下 一 也
学 校 教 育 課 長	上 道 貴 志	青 少 年 課 長	小 田 光 雄
小中一貫教育課長	富 治 林 順 哉	源氏物語ミュージアム館長	嶋 本 康 宏
教育総務課主幹	井 上 宜 久	教育総務課主幹	前 田 聖 子
学 校 教 育 課 主 幹	安 留 岳 宣		

#### (書記職員職氏名)

教育総務課庶務係長	宇 野 裕 美	教育総務課主事	久 野 晴 香
-----------	---------	---------	---------

開 会 (午後5時30分)

**開会宣言** 委員長が12月教育委員会定例会の開会を宣言する。

**日程第1** 会議録署名委員の指名について

委員長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、金丸委員を指名する。

**日程第2** 会期について

委員長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

**日程第3** 教育長報告

- (1) 平成25年12月市議会定例会について
  - (2) 文教福祉常任委員会について(平成25年12月16日)
  - (3) 平成26年度笠取小学校特認入学募集結果について
  - (4) 平成26年(2014年)宇治市成人式について
  - (5) 源氏物語ミュージアムの正月臨時開館について
  - (6) 平成25年度 児童・生徒数推計について
  - (7) 要望書について
  - (8) 宇治市教育委員会後援事業について
- 以上8件を報告する。

---

[説明]

(1) 平成25年12月市議会定例会について

[一般質問] 12月9日・10日・11日・12日 質問議員...16名

(うち教育委員会関係10名)

長野 恵津子 議員

市民の安心・安全を守る施策  
・通学路の安全対策について

金ヶ崎 秀明 議員

体罰問題における公立小中学校の実情について

坂本 優子 議員

子どもを守る施策について  
・いじめについて  
・体罰について

関谷 智子 議員

行財政改革

- ・公立幼稚園問題

災害対策

- ・学校施設

浅井 厚徳 議員

市長の基本姿勢について

- ・中央教育審議会答申（案）について  
（市長と教育委員会の関係について）

真田 敦史 議員

市長の政治姿勢について

- ・市民参画・協働について（歴史資料館について）

教育・子育てについて

- ・学校施設整備計画について

子どもの居場所づくりについて

- ・土曜日の子どもの居場所づくり事業の効果と課題について
- ・活動する人たちをつなぐコーディネーターの育成について

石田 正博 議員

観光振興の将来展望

- ・教育現場との連携について

木沢 浩子 議員

学校給食について

- ・中学校昼食提供事業について
- ・中学校給食実施について

池内 光宏 議員

市長の政治姿勢について

- ・平和行政の推進について

渡辺 俊三 議員

教職員の長時間労働の解消について

- ・教職員の勤務実態
- ・労働安全衛生法・労基法の徹底
- ・教職員の長時間労働をなくす対策

## 「今後の地方教育行政の在り方について（答申）」（中央教育審議会）について

平成25年12月13日付けで中央教育審議会から出された「今後の地方教育行政の在り方について（答申）」では、組織論として見た場合に首長（地方公共団体の長）を執行機関と位置付けている。現在の教育委員会制度では、教育委員会は行政委員会という位置付けであり、行政委員会は執行機関としての役割が地方自治法によって与えられているが、答申では、行政委員会である教育委員会を執行機関とはせず、首長をもって執行機関と位置付けている点が特徴的である。また、これまで教育委員の一人として教育委員会から選任されていた教育長が、首長の補助機関とされている点、行政委員会であり執行機関である教育委員会が、首長の特別な附属機関とされている点が、現在の教育委員会制度と大きく異なる点である。ただし、地方教育行政の組織及び運営に関する法律や地方自治法が今後どのように改正されていくかによって決まることであるため、現時点ではあくまでも答申の内容であると考えている。

## （2）文教福祉常任委員会について（平成25年12月16日）

報告第36号 宇治市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告について

宇治市教育振興基本計画（初案）について

平成18年に教育基本法が改正され、国が「教育振興基本計画」を策定した一方、宇治市では「宇治市教育ルネッサンスプラン」、「宇治市生涯学習推進プラン」、「宇治市青少年プラン」の3つのプランを柱に教育環境の向上に努めてきたが、これらのプランが平成25年度末に計画期間満了を迎えることから、3つのプランの成果と課題を踏まえ、「宇治市第5次総合計画」、国や京都府の教育施策の動向、様々な教育課題や時代の潮流を見据えながら、本市の教育施策の指針を示す「宇治市教育振興基本計画」を策定する。

本計画は、教育基本法第17条第2項に基づき市町村が定めるよう努めることとされている「市町村教育振興基本計画」にあたり、市政の最上位計画である「宇治市第5次総合計画」の教育分野計画に位置付けられ、教育委員会、学校、行政組織が取り組む教育指針であるとともに、市民、地域、関係機関、企業など、多様な主体が幅広く教育に関わることを促す“羅針盤”の役割を果たすものである。

計画期間は平成26年度から平成33年度までの8年間で、これは「宇治市第5次総合計画」と期間を合わせたものである。

「家庭・学校・社会でささえる宇治のひとづくり・まちづくり」を教育理念とし、「宇治の自然、歴史、文化を守り育て『ふるさと宇治』をつくる人」、「地域や社会と協働し、世界に誇る『あすの宇治』をつくる人」を目指す人間像とし、この人間像に向けた教育の基本目標を3つ掲げた。目標1は「横の連携と縦の接続を強め、『学校の教育力』を充実させる」、目標2は「調和のとれた子どもの『育ち』を支える『家庭・地域の教育力』を向上させる」、目標3は「一人ひとりの多様な生涯学習活動を『市民

の社会還元力』に発展させる」とし、それぞれの目標に施策を関連づけている。

このたび取りまとめた宇治市教育振興基本計画（初案）に基づき、平成25年12月17日から平成26年1月25日までパブリックコメントを募集するにあたり、宇治市ホームページ、宇治市教育だより、市政だより、学校だよりに募集記事を掲載し周知を図った。

自動車破損事故に係る専決処分の報告について

### （3）平成26年度笠取小学校特認入学募集結果について

平成25年10月25日から11月22日の間、平成26年度笠取小学校特認入学の募集を実施し、募集期間の初日には授業参観、学校見学、学校説明会を開催した。学校見学会の参加者は5名であり、このうち「通学区域外就学許可願」を提出し、校長面接を受けた入学希望者は3名であった。なお、このうち1名は特認在校生の弟妹枠により優先入学することとなっているため、2名の募集に対して2名の応募があったこととなり、公開抽選は実施しなかった。その2名のうち1名が辞退されたため、1名の入学予定者を決定した。平成26年度の笠取小学校の在校生については、地元児童5名、特認児童13名の総数18名となる見込みである。

### （4）平成26年（2014年）宇治市成人式について

平成26年宇治市成人式は、平成26年1月13日の成人の日に、宇治市文化センター大ホールにて開催する。本年度の対象者は、男性982名、女性927名の計1,909名である。主催は宇治市、宇治市教育委員会、宇治市成人式実行委員会であり、実行委員会は市内在住新成人の公募により男性2名、女性4名の計6名で構成されており、式典での新成人代表挨拶は実行委員長が行う。実行委員会では7月より会議を重ね、第2部特別企画の構成、出演交渉のほか、先日対象者全員に発送したプログラムの企画及び編集、記念品の選定等を行った。第2部の特別企画については、冒頭でご当地のゆるキャラたちが式を盛り上げ、続いて例年人気の高い実行委員撮影による各中学校の恩師からのメッセージを上映する。また、新成人と同年代のアカペラサークルが歌を、ダブルダッチ同好会が2本の縄跳び競技を披露する。なお、記念品は、宇治橋の写真をバックにした宇治市宣伝大使ちはや姫とチャチャ王国のおうじちゃまのイラスト入りのクリアファイルを作成し、プログラムとともに発送した。

### （5）源氏物語ミュージアムの正月臨時開館について

源氏物語ミュージアムでは、宇治市の観光振興及び地域の経済効果に寄与することと、入館者数の確保を目的に、平成10年度の開館当初から毎年正月の臨時開館を実施しており、今回で16回目となる。今年度は、平成26年1月2日（木）及び3日（金）の2日

間、開館時間は午前10時から午後5時、入館料は通常通りとし、喫茶・土産品コーナーも開館に合わせて営業する。

#### (6) 平成25年度 児童・生徒数推計について

本推計は、平成25年5月1日時点の児童生徒数及び0歳から5歳の乳幼児の人口を基として、現在の0歳児が小学校1年生になる平成31年度までの児童生徒数を推計したものである。なお、学級数については、小学校1年生と2年生は1学級35人、3年生以上の学年は1学級40人で推計している。また、教室数については、5月1日現在の教室数を記載している。

推計表(総括)は、平成31年度までの学校別の学級数と児童生徒数である。特別支援学級の児童生徒数については、小学校では今年度の数値をそのまま推移させ、中学校では小学校の在籍人数を反映させたものとなっている。

小学生は平成31年度には1万人を割り込み、中学生は平成29年度には5千人を割り込む見込みとなっている。小中学校ともに増加傾向を示す学校はあるものの、全体的には減少していく見込みである。

#### (7) 要望書について

平成25年11月15日付けで、公益財団法人文字・活字文化推進機構、公益社団法人全国学校図書館協議会、学校図書館整備推進会議より「平成26年度学校図書館施策についてお願い」の提出を受けた。

#### (8) 宇治市教育委員会後援事業について

アジア・アフリカとびっきり映画祭実行委員会の『第5回アジア・アフリカとびっきり映画祭』他8件、計9件の事業について後援した。

---

#### [質 疑]

[委 員] 中学校昼食提供事業については、平均して1日何食の利用があるのか。

[事務局] 市立全中学校で本事業を開始した平成25年10月の実績では、合計2,110食の利用があり、1校あたりの平均食数は211食、1日あたりの平均食数は105.9食、利用率に換算すると2.1%となっている。

[委 員] 想定通りの結果が出ているのか。

[事務局] 全中学校での実施に向け、昨年度試行実施した西小倉中学校と同程度の利用があることから、想定通りであると言える。

[委員] 中央教育審議会の「今後の地方教育行政の在り方について（答申）」について、この答申の通り首長が執行機関、教育長が首長の補助機関、教育委員会が附属機関となった場合、最終的な責任はどこに置かれることになるのか。

[事務局] あくまでも答申の中身に沿って言えば、執行機関としての責任者は首長であり、また事務執行の責任者として教育長が位置付けられている。法律上どういった明文規定ができるかによって、もう一度精査する必要があると考える。

[委員] 宇治市教育振興基本計画について、初案を取りまとめるにあたり、それまでの案から大きく変更した点はあるか。

[事務局] 各施策に目標値及び指標値を設定した。

[委員] パブリックコメントによりいただいた意見については、今後教育委員会に報告されるのか。

[事務局] 募集期間が終了した後、意見の件数や内容を取りまとめ次第、ご報告させていただく予定である。

[委員] 成人式の記念式典において、新成人代表の挨拶と市長からの祝辞があるとのことだが、教育委員会からの祝辞はないのか。

[事務局] 行政側の主催者である宇治市と宇治市教育委員会を代表して、市長が祝辞を贈ることとなっている。

#### 日程第4 報告第9号 専決事項の報告について

[説明] 本報告は、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第1項第3号の規定により、府費負担教職員の管理職以外の任免について京都府教育委員会に内申するため専決処分を行ったので、同規則第4条第2項の規定に基づき報告するものである。

内容は、一般教職員の退職についてである。

[質疑] なし

[討論] なし

**閉会宣言** 委員長が12月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 （午後6時15分）